



▲高橋宣博町長（左）から委嘱を受けた納富愛子さん（中央）と娘の柚羽ちゃん（右）

本紙15ページに納富さんのインタビューを掲載していますのでぜひご覧ください。

町特産桃の産地維持・継承を目的に活動する、地域おこし協力隊の令和8年度委嘱状交付式が4月1日、役場で行われました。  
農業部門の隊員は現在3人で、それぞれが最長3年間の任期中に指導農家のもとで栽培技術や経営方法を学びます。

4月1日付で着任した納富愛子さんは「桃を通して、人を元気にできるような活動にも取り組んでいきたい」と笑顔で意気込みを語りました。  
隊員のうち、安藤政浩さんと西野優香さんは、今年度が最終任期となり、町内での独立就農を目指します。

## 「献上桃の郷」を未来につなぐ 地域おこし協力隊委嘱状交付



▲樋口委員長から（左）から答申を受ける須田管理者（右）

伊達地方衛生処理組合では、令和14年稼働を目指す新たなごみ焼却施設について、昨年10月に設置した「伊達地方衛生処理組合ごみ焼却施設建設基本計画検討委員会」にて基本計画の策定を進めてきました。

この度、施設整備方針や処理方針、施設規模などが決定され、3月17日に樋口良之委員長から伊達地方衛生処理組合管理者の須田博行伊達市長へ中間答申が行われました。中間答申の内容を踏まえ、安全で環境に配慮した施設計画の策定が行われます。

## 新たなごみ焼却施設の整備に向けて 施設建設基本計画中間答申

### 交通教育専門員に 蓬田さんを委嘱

任期満了に伴う交通教育専門員の委嘱が3月31日に行われ、蓬田元衛さんを再任いたしました。

今年で9年目になる蓬田さんは「今後も事故防止に努めます」と抱負を述べました。任期は、令和11年3月31日までです。

